

自ら課題を見つけ、主体的・協働的に取り組む児童の育成
～福祉について知り、自分達にできることを考える活動を通して～

日立市立油縄子小学校

1 はじめに

本校では、総合的な学習の時間を「生き生きゆなごタイム」と称して各学年で学習している。生き生きゆなごタイムでは、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、よりよく問題を解決する資質・能力を育成し、探究的な学習に主体的・協働的に取り組む力を身に付けることを目標としている。本校6学年では、「自分のために・みんなのために」をテーマに、2学期は身近な福祉問題とそれに関わる様々な人々について理解を深めることをねらいとして学習を展開してきた。

2 実践事例

(1) 活動構想

時間	段階・学習活動	活動内容
2	【オリエンテーション】	・福祉について知っていることを書き出し、伝え合う。
1	・福祉とは何か考えよう	
1	【課題設定】	・疑問に思ったことや調べたいことをもとに課題をつくる。
	・福祉について調べる計画を立てよう	・共通の課題をもつ者同士で、小グループを作る。
6	【情報の収集】	・計画を作成し、活動の見通しをもつ。
	・福祉について調べよう	・資料を収集する。
10	【整理・分析】	・調査、体験活動。
	・調べたことをまとめよう	・調べたことを整理する。
4	【まとめ・表現】	・調べたことをまとめる。
	・自分達の調べたことを発表しよう	・発表会を行い、調べたことを友達に伝え合う。
	・自分たちにできることを考え、実践してみよう	・これまでの活動を振り返り、感想をまとめる。
		・さらに追求したいことや自分達にできることを話し合い、実践する。

① オリエンテーション

福祉とは何かについて考える。

この活動では、福祉について知っていることを総合ノートに書き出し、グループで意見を出し合った。それぞれのグループから出された意見を全体で確認し、福祉について考えるきっかけをつくった。

② 課題設定

福祉について調べる計画を立てる。

オリエンテーションの時間に各グループから出された意見（福祉について知っていること）を分類した。その中で、特に関心が高かった「福祉施設について」「日立市の福祉について」「世界の福祉について」の3つのテーマに

絞り、共通の疑問や関心をもつ児童同士が同じグループになり、今後の計画を立てた。

③ 情報の収集

福祉について調べる

個人でインターネットや図書資料を活用して、情報の収集を行った。まとめる時に使用しようと思う文章はメモを取り、資料やグラフは、各自パソコンの「お気に入り」に登録するようにした。

④ 整理・分析

調べたことをまとめる

ノートに記録したことを、グループで紹介し合い、調べたことを確認し合った。確認し合う中で、プレゼン資料を作るためにさらに調べる必要があることやもっと詳しく知りたい内容が出てきたグループもあった。

⑤ まとめ・表現

自分達の調べたことを発表する

プレゼン資料を作る前に、それぞれのスライドに表現する内容の構想を練った。資料作りでは、各々で発表シートを作成し、完成したものを友達にメールで送信して一つの資料を作るようにした。各々が作成したシートを皆で確認し合い、訂正したり付け加えたりしながら発表原稿を完成させた。シートの中に表やグラフ、アニメーション取り入れて工夫してまとめたり、タブレットを用いて発表したりとICTを効果的に活用した。

3 成果と課題

(1) 成果

オリエンテーションの時に、福祉について知っていることを全体で共有したことで、福祉について各々がイメージをもち「調べてみたい」「もっと知りたい」という思いから課題設定をすることができた。また、同じ興味をもつ者同士でグルーピングしたため、調べるテーマや内容を明確にしやすいかった。紙媒体ではなく、パソコンを使用してプレゼンテーション資料を作成することは、個人で作業を進めながら資料を完成することができ効率的であった。児童達は、探究的な学習に主体的に取り組む中で、福祉についての知識だけではなく、それぞれのグループの発表から自分達を取り巻く身近な福祉活動や、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝える表現方法を知るなど、互いの思いや考えなどを大切にしながら協働的に取り組むこともできた。

(2) 課題

地域の施設を訪問したりインタビューしたりすると、自分達の体験から課題設定を行うこともできたのではないかと考える。また、自分達にできることを実践していく場を設けると、「学習で気付いたことや得たことを、自分の学習や生活の中に生かすことができ。」という目標にさらに近づくことができるのではないと思う。生きて働く知識・技能をどのように育成していくかが今後の課題である。